

## Topics

### 名物「とろろご飯」に大満足

毎年恒例の「山芋まつり」は12月11日、道の駅森の三角ぼうしで行われました。

例年大好評のすりたての山芋を味わえる「とろろご飯」の販売には、販売開始前から長蛇の列ができ、あっという間に完売。また、会場では自然薯の即売会も行われ、訪れた人たちは嬉しそうに手に取り購入していました。



◀ とろろご飯を求める来場者

## Topics

### 一足早くクリスマス気分

12月17日、中央公民館図書室でクリスマスおはなし会が行われました。

会では、渡邊須美さん＝広見＝による絵本の読み聞かせや、毛糸で作った丸い玉をベースにしたサンタクロスやトナカイのぬいぐるみ作りが行われ、参加した人たちは一足早くクリスマスの世界を堪能していました。



◀ 絵本の世界に興味津々

## Topics

### 自転車で世界一周！家族3人の熱き挑戦



満面の笑みを浮かべるパシュさん一家

自転車で世界一周に挑戦しているスイス人のサビエ・パシュさん、妻のセリンさん、娘のナイラちゃん一家が12月27日、鬼北町役場を表敬訪問しました。

これまで35か国を訪れている一家は、滞在した国の様子や文化などを記事にして自国に配信しています。ナイラちゃんは、旅の途中に誕生しました。

今回、日本をスタート地点に約5年かけてアラスカを目指しているパシュさん一家。その途中で訪れた鬼北町の印象についてサビエさんは「山や川の風景がとてもきれい」と、笑みを浮かべて話していました。

## Topics

### 炭窯完成に、歓喜の火入れ

炭窯造りの技術を継承するため「鬼北炭焼き会」が10月から着手していた炭窯が完成したことを記念し、12月20日、日吉小学校3・4年生を招いて火入れ式が行われました。

安全祈願後、児童たちによって早速炭窯に点火。児童たちはもくもくと上がる白煙に目を丸くしながら、楽しそうにまきを入れていました。



◀ 炭窯にまきを入れる児童

## Topics

### オリジナルの土鈴づくりに挑戦

1月6日、児童クラブで毎年恒例の土鈴づくりが行われました。

平成29年の干支である酉をかたどった土鈴に、絵の具を使って色を塗ったり、模様を描いたりする児童たちの目は真剣そのもの。細かな作業を一つ一つこなし、自分だけの個性豊かな土鈴を完成させていました。



◀ 土鈴に色を塗る子どもたち